

特集 言語

英語のコミュニケーション



法学部
平尾 節子

"Take it easy Prof. Hirao!"今年3月ニューヨークで開催されたTESOL'99国際学会で研究発表した時のこと、会場で友人のDr.Tangが声をかけてくれた。日本語では「頑張っで！」と言うが、「気楽に！」というのが英語の発送。欧米人はリラックス民族、日本人はテンション民族と言えよう。

ニューヨーク市のニックネームはBig Appleである。学会主催の"Big Apple Highlights Tour"が定刻より遅れた時Tour Guideの挨拶は"Thank you for waiting."であった。「遅れまして申し訳ございません」"I'm sorry."とは言わないのである。

TESOL学会の後、愛知大学との協定校であるUniversity of Wisconsin Law School を訪門し、Professor Greeneのアメリカ憲法の講義を参観した。学生たちは懸命にノートをとりつつ、盛んに質問をする。ディスカッションとなると、積極的に発言する。"Silence is not golden."「沈黙は金ならず」、自分の意見や主張を述べないと「沈黙は無能」と見なさしてしまう。

Prof. Larry Churchと奥様のFrederickaからDinnerに招かれ、"These Turkish dishes are very delicious. I hope you'll like them."と歓迎された。日本で「何もございませんが、召し上がってください」と言うのとは、対照的である。

医師のお嬢さんのことを褒めたら、"Yes, I'm proud of my daughter."と至極自然体で言われた。謙譲を美德とした日本古来の文化では「自慢の娘です」とは語らないが。

食前に「いただきます」食後の「ご馳走さま」に当る英語表現は、特にないが、食事のマナーとして、"This is very delicious, Fredericka." "Everything tastes really good! I enjoyed very much."とほめ言葉を連発した。和やかな楽しい雰囲気でのDinnerであった。

Frederickaが、デザートのコピーを夫のカップに注ぎながら言った。"Say when, Larry."「よかったら言ってね」Larryは"When."と返答する。"OK now, thank you."とか"That's enough."という意味表現である。

"Won't you have some more?"「もっと要りませんか?」と聞かれた場合、「ハイ、要りません」と"Yes"で答えておいて、否定したり、断ったりすると、相手は"I'm embarrassed."と言って当惑する。Yes, Noをハッキリさせることが大切である。断わる時は"No, thank you."

訪門の記念に"Would you mind posing with me?"「写真を一緒に撮って下さいますか」の対応として、「ハイ、いいですとも」の意思表示は、"No, certainly not."である。

会話の相づちとして、コミュニケーションの中で"uh huh"という場合が非常に多い。また、"No kidding!!" "Oh really?" 「ウッソー!」 「ホント」など、陽気で冗談好きのアメリカ人の合いの手である。"You're kidding!"裏返せば、"Are you serious?"である。

その日は金曜日、帰りの挨拶は、"Have a nice week end!"(ハバ ナイス ウイークン) "Thank you, same to you!"であった。

日本の伝統文化の話題に花が咲き、和製英語も話題となった。アメリカ人に通じない英語である。次の和製英語が実際に英語ではどのような表現になるのか、考えてみよう。(答は最終ページ)

- 1 ワンルームマンション
- 2 ベッドタウン
- 3 コンセント
- 4 ペーパーテスト
- 5 ホッチキス
- 6 ターミナルホテル
- 7 ガソリンスタンド

- 8 カンニング 9 シヤーペン 10 マジック
 11 アフターサービス 12 ベースアップ 13 ク
 レーム 14 クーラー 15 シュークリーム 16
 バックミラー 17 ハンドル 18 シルバーシー
 ト 19 ナイター 20 ジーパン

日本人が国際社会で尊敬を得るためには、日本
 の文化について、説明ができることが必要であ
 る。国際コミュニケー
 ション能力を養成する
 とともに、異文化理解
 を深め、自文化を発信
 できる日本人のidentity
 が望まれる。



A man should know something of his own
 country, too, before he goes abroad.
 (Laurence Sterne)



日本語とドイツ語を比較してその相違点・類似
 点を考えるというのは、言ってみればサカナとヒ
 トとを比較してその相違点・類似点を考えるとい
 うほど大胆なことです(わたしはもちろん、日本
 語はサカナで、ドイツ語はヒトだ、などと言っ
 ているではありませんが)。従って、ここではわ
 たしたち日本人がドイツ語を学ぶにあたって、こ
 の一点のみを心がければ、たとえ文法的に多少問
 題があっても、相手に自分の意志を伝達するドイ
 ツ語を口にすることができる、というところを簡
 潔に説明することにします。

例えば、「今日 / ガービーは / 16時まで / 図
 書館で / 勉強します。」という意味内容をドイツ

語で表現したい場合に、まず / で区切った語句
 (文の成分)を日本語(J1)とドイツ語(G1)を
 並置してみますと、次のようになります。G2文
 は正しいドイツ語文です。)

J1: 今日 / ガービーは / 6時まで / 図書館で / 勉強
 します。

G1: heute / Gabi / bis 6 Uhr / in der
 Bibliothek / arbeiten

G2: Heute / arbeitet / Gabi / bis 6 Uhr / in
 der Bibliothek .

「6時まで」(bis 6 Uhr)、「図書館で」(in
 der Bibliothek)など、前置詞bis(「まで」)、
 in(「.....で」)と名詞の結びつきについては、
 この場合無視することにします。すると、日本語
 文の意味内容の伝達という点について言うなら
 ば、このG1文(本当はまだ文ではなく、ただJ文
 にならって語句を並べたに過ぎません)は、ほと
 んど100%に近い伝達度を達成しています。つま
 り、伝達したい意味内容をそのまま(語句の順位
 を変えないで)ドイツ語語句として表わせば、わ
 たしたちのドイツ語文は(文法的に多少問題があ
 るとしても)、コミュニケーションと言う点では
 十分に機能を果たしてくれるわけです。G2が正し
 いドイツ語文ですが、G1との違いは、文末にあっ
 たarbeiten(「勉強する」)が文の成分の2番目
 の位置に移動して、3人称単数形のarbeitetに変化
 している点にあります。しかし、意味内容の伝達
 という点から見た場合には、G1文とG2文とはほん
 の5%かそこいらの伝達度の違いしかありませ
 ん。

同じような例を挙げてみましょう。

J2: 今晚 / 僕は / ガービーと / 映画に / 行く / つ
 もりです。

G1: heute abend / ich / mit Gabi / ins Kino /
 gehen / wollen

G2: Heute abend / will / ich / mit Gabi / ins
 Kino / gehen .

J2文とG1分の文の成分の順位はまったく同じで
 す。G1文と正しいドイツ語文であるG2文とは、
 最初の例のarbeitenと同じように、わずかにG1文
 の文末にあった助動詞wollen(「.....するつもり